

《記入例》

①以下の表から該当する金額を記入してください。

令和2年12月31日時点での児童数	支給額(年額)	※参考(月額)
児童0人	0円	0円
児童1人	121,920円	10,160円
児童2人	183,000円	15,250円
児童3人	219,600円	18,300円
児童4人	256,200円	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに36,600円(年額)を加算してください。

②2020年(令和2年)12月31日時点の年齢

【16歳以上23歳未満】

1998年(平成10年)1月2日～2005年(平成17年)1月1日生まれ

【70歳以上】

～1951年(昭和26年)1月1日生まれ

③(1)で記入した人数に対応する基準額を以下の表から選び、記入してください。

人数	基準額
1人	3,650,000円
2人	4,125,000円
3人	4,600,000円
4人	5,075,000円
5人	5,550,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

④年間収入額が収入基準額より低ければ給付要件に該当しません。裏面下部の確認事項をチェックのうえ、署名欄をご記入ください。

様式第4号(第7条関係) **簡易な収入(所得)額の申立書(申請者本人用)** (父又は母)

○「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。
 ※申請者の生活を経済的に支えている扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も明記して給付を決定します。
 ○④の【要件】を満たす場合に給付の対象となります。

①申請者の前々年(2020年(令和2年)1月～2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

金額	1	2	0	0	0	0
養育費 [A]		1	2	0	0	0
給与収入 [B]	2	4	0	0	0	0
事業収入又は不動産収入 [C]	6	0	0	0	0	0
年金相当収入 [D] (a-b)	1	0	7	7	8	4
年金収入 [a]	1	2	0	0	0	0
児童扶養手当相当額 [b]	1	2	2	1	6	0
年間収入額 [A+B+C+D]	4	1	9	7	8	4

②前々年(2020年(令和2年)1月～2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

③要件に該当するか確認してください。
 (1)申請者が生計を同じくしている親族(児童を含む)又は養っている親族以外の児童(2020年(令和2年)12月31日時点)の名簿を提出してください。
 該当する場合は○又は○
 68歳以上の親族 収入 (a)
 70歳以上の親族 収入 (b)

フリガナ	名前	収入 (a)	収入 (b)
1	フクヤマ 佐野 福山 一郎	4,125,000 円	
2	フクヤマ 知 福山 太郎	150,000 円	
3			
4			
5			

収入基準額※ 4,125,000 円
 収入 (1) の a の数 × 150,000 円 150,000 円
 収入 (1) の b の数 × 100,000 円 0 円
 収入基準額 (1 + a + b) 4,275,000 円
 年間収入額 (a) 4,197,840 円

【要件】④の年間収入額が収入基準額より低いこと。
 ※これを満たす場合は、裏面は正誤の確認事項のみをご記入ください。

【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。

(3) 控除等をご記入ください。

①の年間収入額のうち、控除等に係る控除の額 (前々年分)	②の年間収入額のうち、給与収入に係る控除の額 (前々年分)	③の年間収入額のうち、非課税収入、不動産収入に係る控除の額 (前々年分)	④の年間収入額のうち、公的年金等収入に係る控除の額 (前々年分)
養育費を記入した方 [E]	240000円	500000円	7000000円
給与収入を記入した方 [F]	9000000円		
事業収入又は不動産収入を記入した方 [G]			
年金収入を記入した方 [H]			
社会保険料相当額 [I]	8000000円		

項目	控除額	項番	控除額
②	200000円		
その他控除額合計 [J]	200000円		

各控除等の控除後の年間所得額	⑤ (E + F + G + H + I + J)
K	2423840円
I 基礎額※	2,680,000円
II (1) の②の数×150,000円	150,000円
III (1) の④の数×100,000円	2,830,000円
所得基礎額 (I + II + III)	2,423,840円

※記入例を参照いただき、該当する基礎額をご記入ください。
 →【所得要件】Kの年間所得額が所得基礎額より低いこと。
 ※年間所得額が所得基礎額を上回る場合でも、資料記載費用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に「✓」を入れていただき、名前をご記入ください。)

【要件】に該当します。(課税証明書や年金額改定通知書等)を提出していただきます。
 収入額が分かる書類(課税証明書や年金額改定通知書等)を提出していただきます。
 本申立の内容に相違ありません。

2022年●●月●●日
 申請者名 福山 花子

⑤以下の表から該当する金額を記入してください。

65歳未満	表面の年金収入が130万円以下	70万円
	表面の年金収入が130万円超410万円以下	年金収入分×25%+37.5万円
	表面の年金収入が410万円超770万円以下	年金収入分×15%+78.5万円
65歳以上	表面の年金収入が330万円以下	120万円
	表面の年金収入が330万円超410万円以下	年金収入分×25%+37.5万円
	表面の年金収入が410万円超770万円以下	年金収入分×15%+78.5万円

⑥別紙の「控除額一覧表」のうち、当てはまるものの項番及び控除額をご記入ください。

⑦表面の③(1)記入した人数に対応する基礎額を以下の表から選び、記入してください。

人数	基礎額
1人	2,300,000円
2人	2,680,000円
3人	3,060,000円
4人	3,440,000円
5人	3,820,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

《記入例》

様式第4号(第7条関係) **簡易な収入(所得)額の申立書(申請者本人用)** (申請者)

○「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒に提出してください。
 ※申請者の生活を経済的に支えている扶養親族などがない場合は、その方の年間収入見込額も御案じて給付を決定します。

○②の【要件】を満たす場合に給付の対象となります。

①申請者の前々年(2020年(令和2年)1月～2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

収入内訳	金額	注記事項
養育費【A】	0	※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
給与収入【B】	2400000	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※源泉徴収票などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【C】	600000	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※確定申告書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金相対収入【D】(a-b)	107840	※年金収入【a】と遺族扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
年金収入【a】	1200000	※公的年金の収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金、障害年金などの非課税の年金も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額決定通知書、年金払込通知書、年金振替簿などの支給額がわかる書類をご提出ください。
児童扶養手当相当額【b】	122160	※児童扶養手当などの非課税の年金等を有する世帯の明細の収入内訳を照合いただき、該当する金額をご記入ください。

※上記以外に収入については記載不要です。

②前々年(2020年(令和2年)1月～2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額【A+B+C+D】	4077840
----------------	---------

③要件に該当するか確認してください。

(1)申請者が生計を同じくし兼っている親族(児童を含む)又は兼っていない親族以外の児童(2020年(令和2年)12月31日時点)の各名を下記のように記載してください。

フリガナ	氏名	該当する年齢は○(70歳以上(配偶者以外)の親族)
7777 仔吋	福山 一郎	○
7777 知	福山 太郎	○

(2)要件に該当するかの計算をおこなってください。

基準額※	4,675,000
収入基準額(1+II)	4,675,000
年間収入見込額(②)	4,077,840

※収入内訳を照合いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【要件】②の年間収入見込額が収入基準額より低いこと
 ※これを満たす場合、裏面は下部の確認事項のみご記入ください。

【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。

①以下の表から該当する金額を記入してください。

令和2年12月31日時点での児童数	支給額(年額)	※参考(月額)
児童0人	0円	0円
児童1人	121,920円	10,160円
児童2人	183,000円	15,250円
児童3人	219,600円	18,300円
児童4人	256,200円	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに36,600円(年額)を加算してください。

②2020年(令和2年)12月31日時点の年齢

【70歳以上】

～1951年(昭和26年)1月1日生まれ

③(1)で記入した人数に対応する基準額を以下の表から選び、記入してください。

人数	基準額
1人	4,200,000円
2人	4,675,000円
3人	5,150,000円
4人	5,625,000円
5人	6,100,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

④年間収入額が収入基準額より低ければ給付要件に該当します。裏面下部の確認事項をチェックのうえ、署名欄をご記入ください。

(3) 控除等をご記入ください。

父の年間収入のうち、養育費に係る控除の額 (前々年分)										0	円
養育費を記入した方 [E]											
父の年間収入のうち、給付収入に係る控除の額 (前々年分)	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円
給付収入を記入した方 [F]											
父の年間収入のうち、学業収入、不動産収入に係る公設住宅の額 (前々年分)	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円
学業収入又は不動産収入を記入した方 [G]											
年間収入を記入した方 [H]	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円
[I]	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	円

項目	控除額	項番	控除額
②	20000		
その他控除合計 [J]	20000		

父の年間収入のうち、養育費に係る控除の額 (前々年分) (E + F + G + H + J) 3,120,000 円

基礎控除額 (K) 3,120,000 円

所得基礎額 (I + H) 3,120,000 円

年間所得額 (K) 2,327,840 円

(4) 居住に該当するかの計算をおこなってください。

基礎控除額 (K) 3,120,000 円

(O)以外の名前がない場合は、Oの数を1つ減らして計算

所得基礎額 (I + H) 3,120,000 円

V 年間所得額 (K) 2,327,840 円

※記入例を参照いただき、該当する基礎額をご記入ください。

→【所得要件】Kの年間所得額が所得基礎額より低いこと。

※年間所得額が所得基礎額を上回る場合でも、家計世帯世帯用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】(各項目のチェック欄 (□) に「✓」を入れていただき、名前をご記入ください。)

□ 【要件】に該当します

□ 収入額が分かる書類 (課税証明書や年金額改定通知書等) を提出しています。

□ 本申請の内容に相違ありません。

2022 年 ● 月 ● 日 申請者名前 福山 花子

④以下の表から該当する金額を記入してください。

65歳未満	表面の年間収入が130万円以下	70万円
	表面の年間収入が130万円超410万円以下	年間収入分×25%+37.5万円
	表面の年間収入が410万円超70万円以下	年間収入分×15%+78.5万円
65歳以上	表面の年間収入が330万円以下	120万円
	表面の年間収入が330万円超410万円以下	年間収入分×25%+37.5万円
	表面の年間収入が410万円超70万円以下	年間収入分×15%+78.5万円

⑤別紙の「控除額一覧表」のうち、当てはまるものの項番及び控除額をご記入ください。

⑥表面の③(1)記入した人数に対応する基準額を以下の表から選り、記入してください。

人数	基準額
1人	2,740,000円
2人	3,120,000円
3人	3,500,000円
4人	3,880,000円
5人	4,260,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

《記入例》

様式第4号(第7条関係) **簡易な収入(所得)額の申立書(扶養義務者用)**
【公的年金給付等受給者③】

○「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。
 ○【要件】を満たす場合に給付の対象となります。
 ※申請者本人の年間収入(所得)見込額も勘案して給付を決定します。

①扶養義務者のうち、申請時点で最も所得の低い方の名前と続柄をご記入ください。

名前	福山 龍馬	(続柄)	父
----	-------	------	---

②①で記入した方の前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

項目	金額		注
	金額	円	
給与収入【A】	1200000	円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※源泉徴収票などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【B】	1200000	円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※源泉徴収票などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入【C】	1200000	円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの「国民年金の年金等」も含まれます。 ※年金決定通知書、年金受給決定通知書、年金受給通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

③前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額【A+B+C】	3600000	円
--------------	---------	---

④要件に該当するか確認してください。

(1) ①で記入した方が生計を同じくしている親族(2020年(令和2年)12月31日時点)の名前をご記入ください。

フリガナ	氏名	該当する場合は○ 70歳以上(配偶者以外)の親族 の収入(○)
フヤマ ローラ	福山 ローラ	○

(2) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i 基準額※	4,200,000 円
ii (1) の○の数×60,000円	60,000 円
(○以外の名前がない場合は、○の数を1つはらして計算)	
収入基準額(i+ii)	4,260,000 円
年間収入額(②)	3,600,000 円
V	

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。
 →【要件】④の年間収入額が収入基準額より低いこと。
 ※これを満たす場合、裏面下部の確認事項のみをご記入ください。

【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。

①同居している二親等以内の親族のうち、最も所得が高い方の名前と続柄を記入ください。

②2020年(令和2年)12月31日時点の年齢【70歳以上】

~1951年(昭和26年)1月1日生まれ

③(1)で記入した人数に対応する基準額を以下の表から選び、記入してください。

人数	基準額
0人	3,725,000円
1人	4,200,000円
2人	4,675,000円
3人	5,150,000円
4人	5,625,000円
5人	6,100,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

④年間収入額が収入基準額より低ければ給付要件に該当しません。裏面下部の確認事項をチェックのうえ、署名欄をご記入ください。

(3) 控除等をご記入ください。

①の年間収入額のうち、お母さまに係るお母さまの所得控除の額 (前々年分)	650000	円
②の年間収入額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の額 (前々年分)	300000	円
③の年間収入額のうち、公的年金等収入に公的年金等控除の額 (前々年分)	700000	円
④の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [F]	800000	円
⑤の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [E]	000000	円
⑥の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [D]	000000	円
⑦の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [C]	000000	円
⑧の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [B]	000000	円
⑨の年間収入額のうち、年金収入を記入した方 [A]	000000	円

項目	控除額	項目	控除額
②	200000		
その他控除合計 [H]	200000		

各控除等の控除後の年間所得額	(9) - (D + E + F + G + H)
[I]	2120000

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

Ⅰ 基準額※	2,740,000 円
Ⅱ (1) の○の数×60,000円	60,000 円
(○以外の名前がない場合は、○の数×1つ減らして計算)	
所得基準額 (Ⅰ + Ⅱ)	2,800,000 円
年間所得額 (I)	2,120,000 円

※記入例を照らしていただき、該当する基準額をご記入ください。
 →【所得要件】Ⅰの年間所得額が所得基準額より低いこと。
 ※年間所得額が所得基準額を上回る場合でも、家計世帯者用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】(各項目のチェック欄 (○) に「✓」を入れていただき、名前をご記入ください。)

【要件】に該当します。
 収入額が分かる書類 (職税証明書や年金額改定通知書等) を提出していません。
 給付金の給付要件の該当性を審査するため、福山市が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公開等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
 本申請の内容に相違ありません。

2022 年 ● 月 ● 日

申請者名前 福山 花子
 扶養義務者名前 福山 龍馬

④以下の表から該当する金額を記入してください。

65歳未満	表面の年金収入が130万円以下	70万円
	表面の年金収入が130万円超410万円以下	年金収入分×25%+37.5万円
	表面の年金収入が410万円超770万円以下	年金収入分×15%+78.5万円
65歳以上	表面の年金収入が330万円以下	120万円
	表面の年金収入が330万円超410万円以下	年金収入分×25%+37.5万円
	表面の年金収入が410万円超770万円以下	年金収入分×15%+78.5万円

⑤別紙の「控除額一覧表」のうち、当てはまるものの項番及び控除額をご記入ください。

⑥表面の④(1)記入した人数に対応する基準額を以下の表から選り、記入してください。

人数	基準額
0人	2,360,000円
1人	2,740,000円
2人	3,120,000円
3人	3,500,000円
4人	3,880,000円
5人	4,260,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。